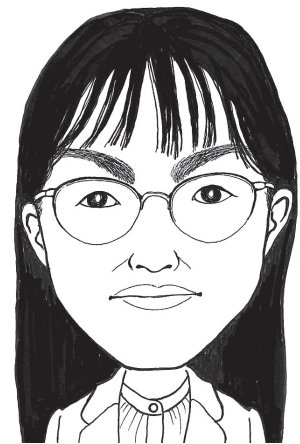


豊かな自然と景観を保持し、 安心・安全に暮らしつづ けるために

町長 整備や保全については
適正に管理されている



山本 奈央 議員

問

(1) 本町の水源は国有林と石山地区に存在するが、北海道水資源保全地域に指定された石山地区周辺の自然環境、土地利用など、適切な整備や保全など、現状について伺う。

(2) 近年道内で起こっている、外国資本による森林買収や土地買収の加速、山林・原野等の土地所有者の維持管理や継承における課題、自治体が意図しない民間企業による乱開発など、過去の一般質問でも取り上げられ

た内容も含め本町における現状や課題、今後の展望について伺う。

(3) 北海道内には景観行政団体へ移行した自治体や、中札内村のように独自の景観条例を制定している自治体もある。清水の景観をより大切にしてい

町長

(1) 石山地区周辺の所有者のほとんどは清水町を含む地方自治体である。主に山林又は原野である。それらの土地に係る自然環境や土地利用などの整備や保全については適正に管理されている。

(2) 町内において海外資本による森林買収や土地買収は少数と認識している。町内のメガソーラーを所有する企業には、再生エネルギーの発電状況を確認するため、今後には必要に応じて発電量規模、処分方法を適時確認するよう検討する。私的な財産の取引について制限をすることは不可能だが、一定規模以上の土地取引は国土利用計画法に基づき届け出義務があり、一定規模の土地開発は許可申請と環境保全の必要がある。関係機関と連携し助言を行い日常の業務の範囲で監視等を行

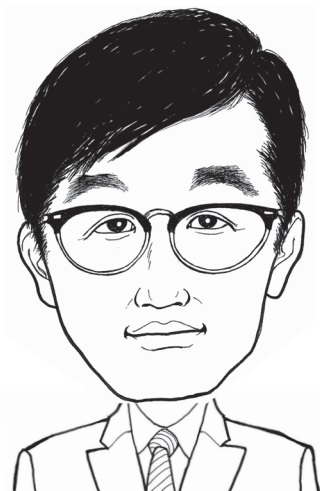


日勝峠からの景色

清水の景観をより大切にしてい

(2) 町内において海外資本による森林買収や土地買収は少数と認識している。町内のメガソーラーを所有する企業には、再生エネルギーの発電状況を確認するため、今後には必要に応じて発電量規模、処分方法を適時確認するよう検討する。私的な財産の取引について制限をすることは不可能だが、一定規模以上の土地取引は国土利用計画法に基づき届け出義務があり、一定規模の土地開発は許可申請と環境保全の必要がある。関係機関と連携し助言を行い日常の業務の範囲で監視等を行

(3) 景観条例の制定については他自治体の動向を踏まえ慎重に検討したい。



田村 幸紀 議員

部活動地域移行の 現状と進捗

町長 本町の方針を年度末までに
推進計画として策定する

問

公立中学校などの休日の部活動から段階的に地域移行することを基本とした国のガイドラインでは、「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備」を令和5年度から7年度までの3年間を「改革推進期間」とし、実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す方針を出した。

部活動地域移行の目指す姿は、教員の働き方改革を図るとともに、少子化が進む中でも子ども達に多様なスポーツ環境を地域のなかに確保することである。

国が定める改革推進期間の半分を経過した現在、スピード感を持ち教育現場と保護者、競技関係者との十分且つ具体的な協議が必要であると考え、現状掲げるありたい姿、認識している課題、そして今後の実現方策を伺う。



中学校アイスホッケー部

今年の6月、日本中学校体育連盟は令和9年度以降、全9競技において全国中学体育大会を開催しないと発表をし、その中に本町のスポーツ振興のみならずまちづくりに大きく関わりを持つアイスホッケーが含まれていることが新聞報道で明らかとなった。アイスホッケーを軸としたまちづくりに取り組む本町独自の課題認識を伺う。

町長

令和4年度
に町内教職員やスポーツ・文化関係者を対象に地域における部活動の望ましいあり方についての説明会を開催し、令和5年度には児童生徒や保護者、教員を対象に地域移行に関するアンケート調査を実施している。児童生徒や保護者のニーズと現状との違い、現在の部活動や地域スポーツ、文化活動が抱える指導者の確保や送り、費用負担など乗り越えるべき壁が高いという課題認識が明確となってきた。

本年度、スポーツ・文化及び学校関係者等による検討協議会を設置し、中学生の望ましい成長のために本町の実情に応じたスポーツ、文化芸術活動の最適化を図り、学校の働き方改革が推進されるための検討に着手している。地域移行後の運営団体や指導者、大会等の

参加態勢、費用負担など、本町の方針を年度末までに推進計画として策定する。

本町においてアイスホッケーの歴史や功績や、小学生から高校生まで一連となつて選手を育成している活動成果等は、まちづくりの一つとして大きな位置を占めている。部活動の地域移行は、それぞれの部活動に合ったやり方で進めていくことがよいと考えており、今後、町アイスホッケー協会と地域移行における様々な課題解決に取り組んでいかなければならないと考えている。